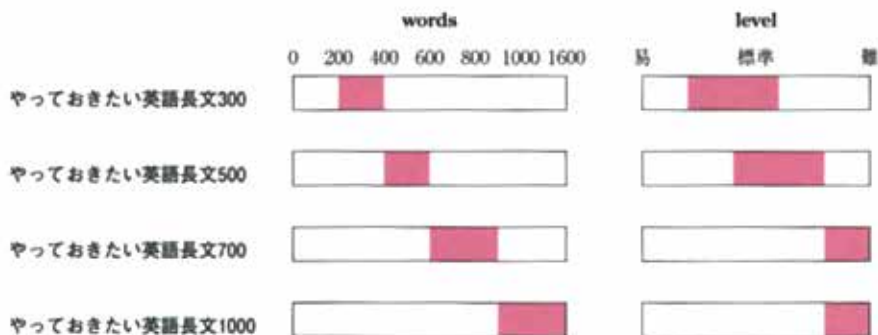


# はじめに

大学の入試問題では、読解問題が最も大きな割合を占めていますし、その割合はますます高くなっています。読解問題を解けるようにすることは、受験を突破するうえで避けては通ることができません。それでは、読解問題を解くためには、どのような力が必要なのでしょう。語力に加えて、一文一文の構造を正確に捉え、内容を把握する力が必要です。さらに、複数の文が集まって文章が構成されている以上、文と文のつながり、すなわち文脈を読み取る力も必要です。また、今日的な話題が出題されることが増えています。そうした話題について知っておくことも、内容を理解するためには大切です。

こうした力をつけるためには、何よりも良い英文を読み、良い問題を解くことです。そこで、これまでに出版された問題の中から、英文の長さや難易度を基準に繰り返し読むに値する英文を選び、4冊の問題集にまとめました。設問は、ある文章に対して問うべきこと—内容の理解と英語の理解—という観点から、ほぼ全面的に作り変えてあります。

やっておきたい英語長文1000は、900語から1600語程度のやや難から難レベルの英文10題で構成されています。英文が長くなることで、論旨の展開上重要な情報や問いに関する情報を素速く確実に読み取ることが求められることとなります。そうした読み方ができているかを確認できるように、論旨展開上重要な情報を **Outline** としてまとめてあります。



本書が皆さんの想いの実現に向けて、役に立つことを願ってやみません。それでは、問題1にトライしてみましょう。

最後に、本書を改訂するにあたり、Kathryn A. Craft 先生に英文校閲を行っていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

著者記す

# 本書の使い方

- 1 問題には語数と標準解答時間を示してあります。標準解答時間を目標に問題を解いてください。
- 2 解説には、解答と設問解説、要約、構文・語句解説があります。設問解説を読み、解答を確認してください。設問解説中の「第1段落第5文」といった表記は、構文・語句解説の番号に対応しています。
- 3 構文・語句解説では、訳例と設問解説で触れなかった、構文および語句の解説がしてあります。設問以外の箇所で理解できなかった部分を確認してください。
- 4 構文・語句解説では、問題文から下線を省き空所を埋めた形で英文を再録してあります。英文を繰り返し読んでもらいたいからです。こうすることが、速読の練習にもなりますし、語いの定着にもつながります。また、このときは、英文の構造よりも、内容・論旨を追うことを心がけてください。また、確認のために要約を活用してください。
- 5 英文を読む際には、音読とリスニングを組み合わせることで、リスニング力も強化できます。英語のネイティブ・スピーカーが読み上げた音声を用意されていますので、利用してください。

音声は、パソコンやスマートフォンから下記の URL にアクセスして聴くことができます。QR コードからもアクセスできます。

<https://www.kawai-publishing.jp/onsei/01/index.html>



・ファイルは MP4形式の音声です。再生するには、最新版の OS をご利用ください。

## 解答

- 問1 ヨーロッパでまづルネサンスが起き、続いて啓蒙運動と産業革命が起き、西洋における生活水準の向上につながり、今ではこの偉大な業績が世界に広まっているという歴史観。(79字)
- 問2 ウ. the cause of all the trouble
- 問3 エ. neither new nor necessarily Western; and it is not a curse
- 問4 in the opposite direction of what we see today
- 問5 実際、ヨーロッパが当時の数学と科学と技術のグローバル化に抵抗していたのであれば、経済的にも文化的にも科学的にも、はるかに貧しかったであろう。
- 問6 懸念される西洋化を伴うものであるため、思想や慣習のグローバル化には抵抗せねばならないという想定。(48字)
- 問7 グローバル化は帝国主義の特徴である以上に、はるかに大きなもので、はるかにすばらしいものである。
- 問8 貧しい人々や敗者の利益に十分注意を払うようなやり方で、経済的交流と技術の進歩の目覚ましい恩恵をいかにして有効に活用するかということ。(65字)

## ▶▶▶ 設問解説 ◀◀◀

- 問1 下線部①は「このような歴史の解釈」という意味。第1段落第4文に「ヨーロッパにおいて大きな進歩が生まれたという見事に型にはまった歴史の記述」とあり、その具体的内容がコロソ以下と、続く第5文に「ヨーロッパでまづルネサンスが起き、続いて啓蒙運動と産業革命が起き、これらが西洋における生活水準の向上につながった。そして、今では西洋の偉大な業績が世界に広まっている」と述べられている。したがって、この内容をまとめる。
- reading「解釈」
- 問2 下線部②を含む文の the opposite perspective とは、第1段落で述べられた「グローバル化に対する肯定的な捉え方」とは正反対の立場、すなわち「グローバル化に対する否定的な捉え方」のこと。また、直後の第2段落第2文で「この見解では、現代の資本主義は、ヨーロッパと北アメリカの貪欲な西洋諸国に